神奈川県議会議員
石川ひろのり
県議会レポート2018 vol.13

石川ひろのり事務所　〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611　FAX 044-455-6614

県議会控室　〒231-8588 横浜市中区日本大通１ 神奈川県庁新庁舎７階
TEL 045-210-7620　FAX 045-210-8911

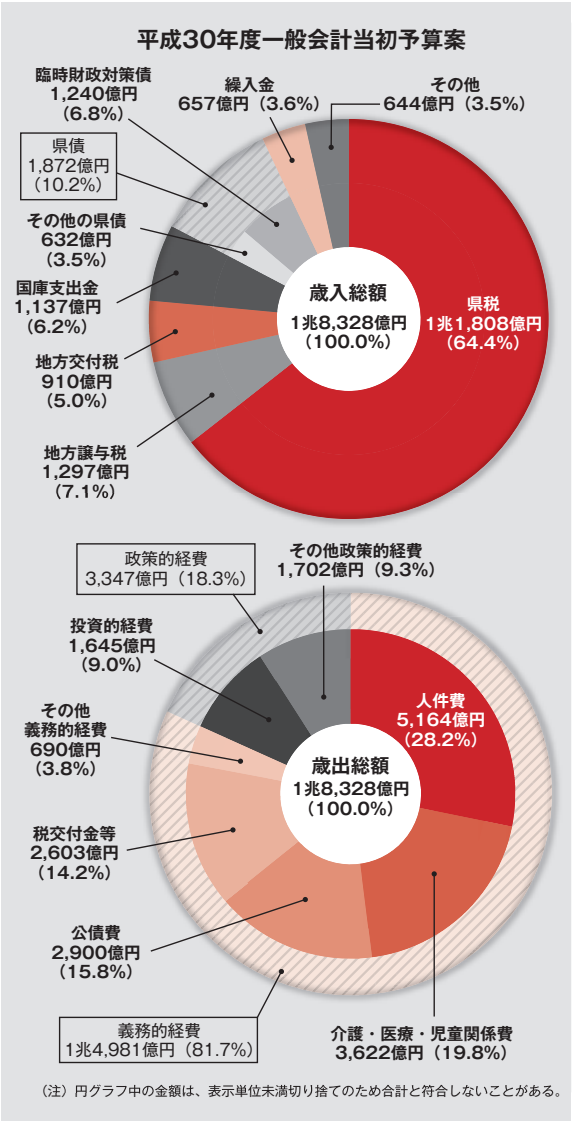
http://www.hiro-ishikawa.jp/　石川ひろのり　検索

県政刷新

プロフィール　1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。引きこもり支援相談士。2015年県議会議員選挙初当選。麻生区在住。

平成30年度予算2年連続「減収補てん債（県債）」発行などにより一般会計予算１兆8,328億円で成立

黒岩県政２期目最終年となる平成30年度予算は、前年比94.5%、一般会計総額１兆8,328億円で成立しました。当初予算は800億円の財源不足と予測されていましたが、２年連続での減収補てん債（県債）を発行するなどの対応でなんとか予算編成がなされました。しかも1,872億円の県債（借金）によって収支のバランスが取られており、県債残高は約３兆5,000億円（県民一人当たり37万7,805円）あることも忘れてはなりません。



（注）円グラフ中の金額は、表示単位未満切り捨てのため合計と符合しないことがある。

子育てを応援

予算額約1,150億円を配し、**①私立高等学校等生徒学費補助金の充実 ②子ども・子育て支援の更なる充実 ③子どもの貧困対策の取組み**等を行うとしています。

①私立高等学校等生徒学費補助金の充実

国は平成32年度までに、年収約590万円未満の世帯を対象として、高校授業料の実質無償化を実現する方針を示していますが、県は、国に先駆けて平成30年度から実現します。

②子ども・子育て支援の更なる充実

「待機児童ゼロ」に向けて県内の保育士確保を図るため、国家戦略特区を活用して、本県独自の地域限定保育士試験を引き続き実施します。また、保育の質の向上と、就業継続の支援を図るため、「保育エキスパート」を養成します。さらに、就学前児童の一時預かり事業について、対象を拡大し、幼稚園において2歳児を受け入れる場合も補助の対象に加えます。

③子どもの貧困対策の取組み

母子・父子・寡婦に対する福祉資金の貸付けや、社会的養護が必要な子どもの自立支援など、子どもの貧困対策に、引き続き取組みます。

介護・医療

介護・医療・児童関係費は約3,622億円と歳出総額全体の約2割を占めています。また、平成20年度と比較しこの10年で約1.9倍の歳出増となっています。団塊の世代が後期高齢者となる2025年（平成37年）に向け、約242億円の予算を配し、地域医療体制の整備・充実、がんをはじめとする疾病対策の推進及び高齢者支援施策の推進をするとしています。また、健康長寿社会実現に向けて駅ホームからの転落防止対策等のため、鉄道事業者が行うホームドアの設置に対して補助することで早期の設置を促進し、公共交通の安全・安定輸送の確保と利便性の向上を図ります。

安心・安全な街づくり

前年比約105％増の984億円を配し、県民の生命、身体及び財産を守る、「災害に強いかながわ」をつくり、地域防犯力の強化や、犯罪被害者等への支援、県民と一体となった交通安全運動・対策等を実施することにより、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりを推進するとしています。具体的には、道路、橋りょう、港湾等の整備による緊急輸送体制の確保等に約278億円、防犯カメラの設置促進、道路利用者の交通安全を確保するための信号制御機、信号灯器、道路標識等の交通安全施設を計画的に整備・交通環境の構築の推進に約33億円の予算が組まれています。

再生紙を使用しています。

県政報告（タウンニュース掲載）

石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

かながわ民進党
県政報告vol.15

『1兆8328億円の平成30年度予算。県税の使い方を考える』

神奈川県議会議員　石川ひろのり

現在、県議会では平成30年度予算審議が行われています。約8００億円の財源不足が見込まれ、危機的状況であると昨秋発表されましたが、県税等の税収増、減収補てん債の発行などで税源不足対策が行われ、前年並みの予算が確保されました。

補助金の在り方

前回の県政報告で、ある環境系財団に20年間で27億円もの補助金が拠出されていたことを報告しましたが、同じ財団に別項目で36億円もの補助があったことが質疑で明らかになりました。つまり一財団に20年間で約63億円もの補助金だったのです。私は、3月の委員会の中で「この財団は20年前、県が誘致した事業であることは理解をするが、県予算が厳しい中、県民還元の成果が明確に答えられない事業であれば、補助の見直しを改めて検討する時期である」と強く指摘しました。

里地里山・都市農業対策

麻生区民会議のアンケートで、麻生区の魅力は「緑の多さ」というご意見が多く寄せられています。県の選定する里地里山は20地域、約1万3千㎡で23の団体と協定を結んでいます。しかし、里地里山保全推進費と認定協定活動団体支援費について年間1千万円弱の予算しか計上をされていません。また、2022年問題と言われる「生産緑地」を含む都市農業対策費においても、補助金予算は1500万円。県の試算では現在約1300haある生産緑地は、2022年に約700haになるとしています。東京都では10億円の予算を組み生産緑地を買い取り、高齢者が技術支援を受けながら農作業に取り組める農園にする事業を始めます。

私は、生産緑地に限らず、都市で里地里山や農地を残すことは、災害時の避難場所としての機能や水害への対策、田園風景を守ることや小学生などの環境学習の場といった農業以外の重要な役割を担っていると考えています。環境系の財団に毎年3億円弱拠出しながらも、県民還元の成果が明確でないのであれば、この里地里山保全、都市農業対策にこそしっかりと予算をつけるべきと主張をしています。今後も、県税の使い道について提案をして参ります。ぜひ、皆さんのご意見・ご要望をお寄せください。

石川ひろのり事務所
県政へのご意見・ご要望はこちらまで
麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
☎044・455・6611
FAX044・455・6614
http://www.hiro-ishikawa.jp

『1兆8,328億円の平成30年度予算。県税の使い方を考える』2018年3月23日

活動報告

高石神社「節分祭」に出席

２月、麻生区内では毎年恒例の「節分祭」が高石神社、琴平神社で開催されました。今年は両神社とも同時刻での豆まきとなったため、高石神社の「豆まき」に参加させていただきました。先日の大雪で神社境内もだいぶ雪が積もっていたようですが、多くの皆さまのご協力とご尽力ですっかりなくなっていました。会場は多くの方で賑わい、皆さまと「福は内」と掛け声をかけながら豆をまき、無病息災・五穀豊穣などを祈願しました。ついつい年齢の数以上の豆を食べてしいましたが、しっかりと厄除けができ今年一年頑張ることができそうです。

『岡上子ども会マラソン大会 開会式』に出席

２月、『岡上子ども会マラソン大会 開会式』に出席いたしました。今年で33回目となる地域のマラソン大会。92人の幼児・小学生が参加され、ご家族や地域の皆さんの声援を受けながら、ゴール目指して一生懸命走っていました。今年は残念ながら腰痛のため子ども達と一緒に走ることはできませんでしたが、岡上地域全体が寒さを吹き飛ばすような熱気に包まれていて、私も皆さんから元気をいただきました。

「里山フォーラム2018」に出席

2月、麻生市民館で開催された「2018里山フォーラムin麻生」にお邪魔いたしました。麻生区内にはいくつかの里山があります。今年も小学校の生徒さんによる里山についての発表会があり、次世代につなぐ取組みなどが紹介されました。また、ホッとする風景写真展や30団体による活動紹介や展示、ハーブティータイム、パネルセッション、地元農産物の紹介など盛りだくさんのプログラムがありました。多くの皆さまの多種多様な活動によって自然が守られ、そして世代を超えた地域のつながりが維持されているのだと改めて里地・里山文化の重要性を感じました。

「神奈川県立 麻生養護学校 第12回 小・中学部卒業式」に出席

３月、「神奈川県立 麻生養護学校第12回 小・中学部卒業式」に出席いたしました。卒業生で描いた大きな虹の絵が式の中で発表され、幼い頃の写真がスクリーンに映し出されるなど、今年も温かみのある卒業式でした。また、全員で「365日の紙飛行機」を唄う時の保護者、先生方の涙には胸が熱くなりました。今後は中学部、高校部に進学とのこと。今後も皆さんに限りない未来と可能性が広がるように祈っています。ご卒業おめでとうございます。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。
▶県議会レポート毎月発行！詳しくは事務所までお問い合わせください。

Facebook 石川ひろのり 検索

ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説の支援など短時間でもかまいません。皆様のできる範囲でお手伝いください。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動へのご支援（個人献金）のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▶石川裕憲後援会　【郵便局】払込取扱票にて（口座番号 00200-7-52777）　【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店　普通　口座番号 6902358

石川ひろのりへのご意見・ご質問をお待ちしております。

FAX 044-455-6614

ご意見など

お名前

TEL

ご住所